

開催月日 : 平成29年3月14日

平成29年度第12回
定期巡回・随時対応型訪問介護看護連携推進会議

時 間	14:00 ~ 15:00	場 所	グッドライフケア港支店
司 会	今口 友紀	書 記	今口 友紀
出席者	麻布地区高齢者相談センター : 主任介護支援専門員 牧野 和子		
	高輪地区高齢者相談センター : 菅野 岳雄		
	民生委員 : 野村 知義		
	ジャパンケア港 : 介護支援専門員 功刀 あゆみ		
	ジャパンケア渋谷 : 管理者・介護支援専門員 高野 文子		
	グッドライフケア居宅介護支援センター 港 : 介護支援専門員 篠原 真貴		
	グッドライフケア居宅介護支援センター 港 : 介護支援専門員 徳田 晴彦		
	グッドライフケア居宅介護支援センター 港 : 介護支援専門員 宮澤 玲奈		
	グッドライフケア24 : 江東管理者・アセスメントナース 鈴木 直美		
	グッドライフケア24 : 管理者・計画作成責任者 今口 友紀		
会議内容	1. 開会の挨拶 グッドライフケア24 管理者 今口 友紀		
	2. 参加者紹介 自己紹介していただく		
	3. 28年12月～29年2月までのサービス実績報告・今年度のまとめ グッドライフケア24 管理者 今口 友紀		
	4. 第三者評価・外部評価の報告・事業所としての方針 グッドライフケア24 管理者 今口 友紀		
	5. 意見交換		
	6. 閉会の挨拶 グッドライフケア24 管理者 今口 友紀		

詳 細
2. 参加者紹介 順に自己紹介していただく
3. サービス提供状況報告(利用者の状況報告とサービス実績報告・平成28年度のまとめ) 今年度の新規件数は16件あり、過去3年間で一番新規の件数が多かった。 平成27年度は6名、平成26年度は10名の新規依頼だった。 サービスの内容も入院やご逝去を除き、他のサービスへの移行に関して平成27年、26年度は1件だったが、

<p>今年度は6件あり、定期巡回から訪問介護への移行が増えている。施設入所も今年度は1件もない状況。ご利用者様やケアマネージャーにとっても在宅生活を継続させるためのサービスという認識になってきているのでは？と感じている。引き続きまずは定期巡回を利用し、状況に合わせて訪問介護のサービスに移行するなどしていただくといい。</p>
<p>4. 第三者評価・外部評価の報告・事業所としての方針</p>
<p>・第三者評価ではプライバシーの保護に関して高い評価をしていただいた。評価できる点としては研修が大きな強み、自立支援に注力している、本社支店が一丸となって人員配置を効果的、効率的に行っているという点が高く評価された。</p>
<p>改善してもらいたいという点で、アセスメントの仕組みと実施が課題とされており、訪問介護の事業所と合わせてアセスメント表の改善をしていく。当社独自の情報連携ツール(Gフォース)を活用した情報共有と、素早く支援ができていいる部分は高く評価されているが、それにより情報量が多く、その膨大な情報を効果的に活用するには効率的な情報管理が必要で、そこを担う管理者の負担増が懸念されるとのこと。</p>
<p>定期巡回としての総合評価としては、Gフォースは優れているが、全体像をイメージしにくいという指摘があった。文章による情報共有だけでなく、図や表など視覚的にも把握しやすいように工夫するといいいのではないかと評価でした。グッドライフケア24のパンフレットは大変良く出来てる。訪問看護やリハビリとの連携を盛り込んだパンフレットなどもあるといい。</p>
<p>職員への情報の周知について、情報の供給はあるが、周知されたか確認するシステムがあるといいいので、何らかの工夫が必要。</p>
<p>ターミナルケアの明確な方針がないから訪問看護と連携し、もっと積極的に進めるといいのではないかとのこと。</p>
<p>・外部評価は現在集計中のため、次回まとめたものを発表させていただきます。返信された内容を少し確認したところ、実施状況を知らないと言う項目を作ったが、その項目のチェックが多かった。</p>
<p>事業所としての発信力が弱いということだと思う。ホームページに推進会議の議事録をアップしているが、実際探したけど見つからないとコメントをくださった方がいた。</p>
<p>・事業所としての方針ですが、知らない人に知ってもらうだけではなく、今現在利用している方にも定期巡回サービスを知っていただけるような仕組みを作らなくては行けないと思っている。訪問介護のサービスとの区別をしっかりとつけて差別化を図る。</p>
<p>5. 意見交換</p>
<p>・このサービスを知らない人が多いので、家族に知ってもらうことが必要。東麻布に共同スペースがあるのでそういった場所で地域の人を集めてお知らせする機会を作ったらどうか？知らせるといことが大事。</p>
<p>・支援を受けたくない人も多いが支援を受けることで、状態が改善することもある。</p>
<p>・第三者評価をする際の離職率はどうだったのか？</p>
<p>→採用が2名、退職が2名で第三者評価には提出している。</p>
<p>・周知という点ではかかりつけ医も知らないことが多いため、地域の中で重要な役割となっているかかりつけ医も知ることができるようにパンフレット等を置かせてもらうのもいいと思う。</p>
<p>・情報という点では、まだ画像で見るのは少ない。災害時などは紙のカルテや帳票などは駄目になる。電子カルテなどでサーバー保管する方がいいが、更新がなかなかされていないことが問題になる。簡単で簡潔な情報にするほうがいい。</p>
<p>・地域の先生を呼んで連携したり情報提供できる機会が必要。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・病院の中に包括が入っていて何かあったらすぐにつなげる仕組みを作った市町村もある。孤独死があってはいけない、外に出られないなどもあってはいけない。積極的に私達が関わる必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・高輪地区で定期巡回の相談や依頼の件数はあるのか？
<p>→1件高輪地区にお住まいでケアマネさん他社の方もいる。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・利用経験のある事業所さんからの依頼が比較的多い。
<ul style="list-style-type: none"> ・病院から直接の依頼は？
<p>→だいぶ前に1度あったが、グッドライフケアにはほとんどない。ケアマネージャー経由がほとんど。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・MSWさんから電話があり、ケアマネージャーに依頼をしたら自己負担が20万ぐらいになった。定期巡回にしたらどうなのか？と聞かれた。MSWさんへの周知するのも大事。
<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネ部会でも定期巡回にすればいいのというプランも多かった。
<ul style="list-style-type: none"> ・他区でも定期巡回をしているが、爆発的に広がったタイミングは他社の事業所内で広まったとき。具体的なセリフなどのミニ事例等を提案できたらいいと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネージャーも地域の場に出て行くのも大切。
<ul style="list-style-type: none"> ・三田病院で連携した際、医療連携室の相談員と看護師が自宅に行き、在宅生活の確認をしており、今後病院もそういう動きをされているので、そういう機会にサービスの周知をしていくのも大切だと感じる。
<ul style="list-style-type: none"> ・コール機がり、夜間などの緊急時に対応ができるので良いサービスだと感じている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネージャーの交代が続くと利用者様におすすしにくくなる。この事業を拡大するためにも居宅の安定が必要。
<p>次回 開催日程 H29年 6月 21日（水） 14:00～15:00</p>